



## 男子第75回女子第74回 西日本学生バスケットボール選手権大会 振り返り

### 【総務部】

#### I. 庶務

---

##### ・大会役員一覧

大会役員一覧の間違いを最終校正の時点で見つかり、修正が遅れて広報に迷惑をかけた。今年度は男女ともに理事改選があったので来年は理事、顧問・参与の整理を早めに取り掛かりたい。

##### ・ID

4月の準備委員会でIDの規則などを議題に上げて、納期を代表者会議の3週間前にできたことで、学生総会の準備をスムーズに行うことができた。

数量に関しては、昨年の数を基本にして発注。昨年よりも前半の会場分散が多かったためIDがギリギリになった印象。

GUEST：男女で300発注する。→招待状×100+予備

STAFF：もっと余裕のある数を発注する。

REFEREE：今年度から返却なしになったので来年も審判部に数を聞いて発注する。

REFEREE IDの取り扱いには男女で違う部分があり、会場が一緒になると入れ替えの時間で混乱することがあったので、伝達が上手くいくように審判部に資料を作成してもらうと良いと感じた。

ID一覧の資料が学生総会の前日に変更することになった。大きな問題としてGUEST IDの数が少なく返却なしから返却ありになったこととPRESS IDの取り扱いについて男女の広報渉外部と確認が出来なかったことがある。来年は早い段階で男女の他部署の人たちと連携を取りたい。

##### ・パンフレットと招待状の発注

顧問・参与へのパンフレットと招待状の発送が大会開催のギリギリになってしまったので、招待状の校正は余裕を持って印刷会社に返信する。パンフレットについては広報と連携して試合が始まる1週間前の週の前半には送るようにする。

#### II. 式典

---

##### 〈男子〉

式典の司会で選手の背番号を間違えることがあった。

→式典のシナリオは必ず、二者確認するようにする。表彰状についても漢字間違いがないか等、総務部全員で確認作業を行う。

##### 〈女子〉

式典の際に賞状やトロフィーの授与をお願いする方の決定が直前になってしまった。

→早めに確認をしてお声がけを行う

### Ⅲ. 会議

---

〈男子〉

男子は代表者会議と社員総会の日程が同じだったため、両方を並行して準備した。

来年は余裕を持って準備できるようにしたい。

今年から地方の数チームがズームで出席する形を導入した。そのため、試合当日に会議資料を渡す状況ができ、その会場に会議担当の総務部がいるとは限らないので各会場に情報共有する必要があると感じた。

〈女子〉

女子も今年度から地方の数チームはズームで代表者会議を行う形にした。

来年度も同様にする場合、今年度も優勝チームが地方のチームだったため、レプリカをどのように渡すのか検討する。

### Ⅳ. 大会運営

---

男女が合流する前日は入口や部屋割りなどを確認するために下見をし、前日に男女で情報共有をする。

大会規則や動画・写真撮影の申請など曖昧だった

→地方のチームや保護者などにも周知できるように全員が同じ内容で把握出来ているようにする。また、なるべく事前に周知できるように対策を検討する。

TO が 10 分前になっても来ない状態がいくつかあった。

→受付担当が遅れることのないように随時確認して円滑に試合を進めるようにする。加えて TO ID を受け取りに来た際に「どのコートで、何時から」を伝える。

#### 【広報渉外部】

##### 1) 課題点、改善策

---

○パンフレット

・パンフレット納品日の設定

→大会開幕前までに企業に確実に届くよう、納品日を適切に調整する。

・前大会の成績において、同じ選手が 2 名記載されていた。(女子)

※入稿データに誤りはなかった。

→学生校正の際に見落としていたため、改めて校正の質を見直す必要がある。

・企画ページにおいて、他地区の選手の名前と写真の相違があった。(女子)

※地区学連へ確認を依頼し了承を得ていた。

→今後は、地区学連への依頼後であっても、自分たちで可能な範囲で確認を行う。

・一部の企業から協賛申込の提出が間に合わず、入稿期限内に対応できなかった。(男子)

→今後は、余裕を持った提出期限の設定や、期限の厳格化に努め、作成スケジュールに遅れが出ないよう改善していく。

・企画ページの収集に関して、他地区への伝達が不十分で認識の相違が生じた。

→メールの文面や回答フォームを工夫し、情報が正確に伝わるよう改善する必要がある。

#### ○カメラ申請

・撮影規定に記載されていない内容について、曖昧な部分が多かったため大会期間中に対応を変えることがあった。

例：審判の撮影に関する対応に男女で相違があった。

→今後は大会前に打ち合わせを行い、男女で認識の相違が無いように注意する。

・他地区への周知が難しく、未申請で撮影を行っていることがあった。

→SNSやHPでの発信を強化し、より多くの人に伝わるように改善する。

#### ○その他

・男女の連携が上手く取れていないことがあった。

例：部署費の管理、社旗の位置、パンフレットの企画等

→今後は大会前に打ち合わせを行い、男女で情報共有を行う。

## 2) 報告事項

---

#### ○バスケプラス

・期間別集計において、一部の大学のデータが反映されなかった。バスケプラスの担当の方に確認をしたところ、別のiPadから送信されたデータが反映されないようになっていたため、1試合ずつのボックススコアを計算し集計を行った。(女子)

#### ○社旗

・デイリーの社旗について、昨年と同様の位置に設置していたが、デイリーの方より枚数のご指摘をいただき、4枚ほど増やす対応をした。(女子)

## 【財務部】

### I. 有料日、パンフレット販売状況

---

#### 【チケット】

一般 @1,500×580 (昨年比 +120 枚)

合計 870,000 円 (昨年比 +180,000 円)

高校生 @500×19 (昨年比 +4 枚)

合計 9,500 円 (昨年比 +2,000 円)

チケット売上合計 879,500 円 (昨年比 +182,000 円)

#### 【パンフレット】

チーム一括売上：一括購入金額@1,000×56冊 (昨年比 +3 冊)

合計 56,000 円 (昨年比 +3,000 円)

一般パンフレット売上：一般パンフレット販売金額@1,500×371冊 (昨年比 +7 冊)

合計 556,500 円 (昨年比 +10,500 円)

WEB 一般売上：WEB 販売金額@1,700×50冊 (昨年比 -60 冊)

合計 85,000 円 (昨年比 **-102,000 円**)  
パンフレット売上計 697,500 円 (昨年比 **-88,500 円**)

## Ⅱ. 大会収支の見通しについて

---

○収入

【チーム参加費】

参加費@52,000 パンフレット負担金@8,000 合計@60,000

●男子

参加費@60,000×85 チーム (昨年比 **-4 チーム**)  
5,100,000 円 (昨年比 **-240,000 円**)  
棄権チーム 5 チーム -150,000 円

男子合計 4,950,000 円 (昨年比 **-300,000 円**)

●女子

参加費@60,000×チーム数 61 チーム (昨年比 **-2 チーム**)  
3,660,000 円 (昨年比 **-120,000 円**)  
棄権チーム 0 チーム ±0 円

女子合計 3,660,000 円 (昨年比 **-30,000 円**)

男女合計 8,610,000 円 (昨年比 **-330,000 円**)

## Ⅲ. 成果・反省

---

- ・来場者数が増加しているにもかかわらず、パンフレットの売り上げがあまり伸びなかった。
- パンフレットの中身紹介で観客の方の目に留まるような工夫をし、パンフレット販売中の貼り紙を増やすことで、観客の方の目に映る機会をもっと増やす。
- ・昨年度の反省で、パンフレットの管理が甘かったことが挙げられたが、今年度は、男女ともにパンフレット管理表を記載、共有することで管理を徹底できた。

### 【競技部】

#### I. 成果・反省

---

【会場】

○今年度からエディオンアリーナに代わり Asue アリーナ大阪を使用した、例年通りの日程で会場を借りることができた。特に大きな問題がなく試合を消化することができた。

【エントリー】

代表者会議でのエントリーチェックを全員でおこなった。あらかじめやり方をしっかりと共有したこともあり、大きなミスなくはやく終わることができた。期限に遅れて変更デ

ータを提出してくるチームがあったが事前に連絡してもらうことにより、しっかりと対応できた。

#### 【試合期間】

〈男子〉

特に問題なく試合を行うことができた。

T0 はできるだけ関西のチームにお願いし、地方のチームの負担を減らすことができたと思う。T0 に遅れてくるチームが数チームいたため、来年度以降は T0 割当に関してさらに情報共有を行うこととした。

3 会場ともなり、人員が少ない中でも問題なく運営できた。ただ、来年度は効率の部分を検討して、体育館調整を考えていく必要がある。

〈女子〉

T0 について平日開催ということもあり、T0 派遣依頼をだしても人数を集めることが難しかったため、理事の方から監督へ連絡を取り、依頼するなど、派遣依頼方法の検討が必要である。

今回、追加変更エントリーを QR コードで配信した。紙媒体でコピーを作成するよりも自分たちの作業量が減るほか、訂正したデータの配信もおこないやすくなった。

例年より怪我の対応が多くあった。事前に学連内で、担架・車いす・製氷機の場所の共有などをおこない、誰でも対応できるように準備しておく。

## Ⅱ. 総括

---

全体的に問題なく大会を終えることができたと思う。

来年は今年の実績を生かしてよりスムーズに大会運営を行えたらいいと思う。

### 【審判部】

#### I. 課題点、改善策

---

・男子学連との受け渡しについて

試合後の予備費の管理に関わる受け渡しが確実にできなかった。

→受け渡したら部署内で報告し、完了したことを学生同士で確認できるようにする。

・領収書の受け取りについて

男子学連の財務部と領収書について認識の違いがあり、数名分当日受け取れなかった。

→事前に共有し、審判受付を行う学生全員が確実に把握できるようにする。

・割当配信と他地区の実費精算申請書について

配信がおそくなってしまった。

→余裕をもって早めに配信できるようにする。

## Ⅱ. 報告事項

---

- ・スコアシートの確認不足について

4日の千島体育館で行われた中部学院大学 vs 園田学園大学のスコアシートの確認不足があった。

→両審判、両大学に確認したところ、スコアシートの記入ミス、確認不足と判断し、理事に報告・相談をした上、修正で対応した。

- ・テクニカルファール

### 【女子】

九州産業大 vs 武庫川女子大 (4Q 残り 5 秒)

九州産業大 #78 がスリーポイントシュート時に、過度な接触アピール（フェイク）を行い TF 判定。

### 【男子】

近畿大 vs 大阪経済大 (3Q 7:49)

・大阪経済大 #30 に対する DF ファウル（ブロッキング）をトレイル（伊藤）がコール。初めは 2 ショット処理とされたが、近畿大からの「ショットが入った」主張を受けて、クルーコミュニケーションによりカウント+1 ショットに変更。その後、大経大から「打ち直しだった」と異議。再確認の結果、カウント継続で再開。試合後、映像確認により実際には打ち直しであり、ショットカウントは処置ミスと判明。

近畿大 #49 に対し以下 2 つの TF でゲームディスクォリフィケーション (GD) 処理。

(3Q 3:30) ショット後のボールを拾い、遅延行為 (DOG) →TF (前半に DOG 警告あり)

(4Q 0:13.7) タイムアウト後、支柱を叩く行為→TF (フラストレーション表現)

京都産業大 vs 関西学院大 (2Q 0:53)

京都産業大コーチが前半 3 回目のタイムアウトを誤って請求。

ブザーが鳴りゲームが停止したため、取消不可→TF 処理。

## Ⅲ. 検討事項

---

- ・謝礼金、領収書の受け渡し及び予備費管理について

主に男子学連財務部と連携して審判受付を行ったが、認識の違いにより確実に行えなかった。

→男子分の謝礼金・領収書・予備費も女子が管理する場合、審判受付を男子の試合開始以降は男子学連財務部に任せるのか、最終試合まで女子が行うのか検討する。

- ・学連員ライセンス取得について

やむを得ない理由で急な割当キャンセルが入ることがある。

→学連員の中から数名のライセンス取得を検討する。